

新しい時代・令和が幕を開けた2019年。政府が推進する地方創生は、今や様々な潮流を生み出し、多くの目が地方の活性化策に注がれています。その流れを俯瞰すると、情報発信力やネットワーク力など、広報が持つチカラを活用して活性化を加速させる姿が間々見て取れます。今回の研究大会では、地方活性化の一現場でもある地方都市・犬山で、地方創生に見る広報のチカラを再認識するような機会にできればと、名古屋経済大学での研究大会を開催する運びとなりました。

名古屋経済大学が位置する犬山市は、日本最古の木造建築の天守閣を有する国宝犬山城をはじめ、数多くの名所旧跡を有する観光都市です。実は10年ほど前まで、観光都市としての賑わいがさびれ、城下町は住居混在で生活道路と化し、店舗は閑古鳥が鳴く状況にありました。これを観光協会や商工会、自治体、私鉄、そして地元住民が共同して活性化策を練り、今では土日など犬山城が連日入城制限を行うほど、賑わいを取り戻しています。ここに至った取り組みには、地元経済界が立ち上げた城下町再生プロジェクト、観光協会や私鉄が仕掛けた広報作戦などがあり、最近ではメディア露出も激増しています。



▲日本最古の木造建築・
国宝犬山城



▲お笑い芸人が引く
人力車



▲ハート絵馬が大ブレイク・
三光稲荷神社



▲串グルメで食べ歩き



▲レンタル浴衣で
城下町散策

犬山は観光を基軸とした地方活性化事例ですが、全国で見れば、数多くの仕掛けが動いています。移住定住、地場産品、IT、まちづくり、ブランディング・・・これら地方活性化に寄与する広報力を、研究大会のテーマとして据えてはいかがでしょうか。本研究大会では、広報の持つチカラの活用方法を社会全体で共有することを目指します。統一論題シンポジウムにおいて、様々なテーマで地方を活性化させる仕掛け人を全国から招き、具体策から英知を導くアプローチを提案します。

今回、非学会員の皆様にも学びの機会となればと考へ、ランチョンセッション(無料弁当付き)とセットで1,000円と、非学会員の皆様向けの特別参加パッケージプランを用意させていただきました。この機会に是非ご参加くださいますよう、宜しく願いいたします。

◆日本広報学会 第25回研究発表全国大会

大会テーマ 「繋がるチカラが、地方をツクル～地方創生を切り開く英知を体感する～」

主催 日本広報学会

後援 犬山市、犬山市教育委員会、犬山商工会議所、犬山市観光協会、中部産業連盟

協力 経済広報センター、日本パブリックリレーションズ協会、公共コミュニケーション学会、地域活性学会

日時 2019年10月19日(土)・20日(日)

会場 名古屋経済大学犬山キャンパス 7号館5階 7E1 講義室ほか

構成 10月19日(土)

10:30 受付開始

11:00 開会式

11:10 ポスターセッション

12:30 ランチョンセッション(無料弁当付)

13:30 統一論題シンポジウム

基調講演①②

15:30 同 パネルディスカッション

[地方創生に大学が果たす役割]

17:30 学会賞表彰式

18:00 懇親会

10月20日(日)

08:50 受付開始

09:20 自由論題口頭発表

12:10 ランチョンセッション

[犬山にみる観光再生のリアル]

12:50 閉会式

13:20 移動(名経大→犬山城下町)

14:20 観光再生の現場を歩く

[犬山城～城下町探索、犬山城ほか

無料入場券・ガイド帯同]

15:30 現地流れ解散

会場案内 名古屋経済大学 犬山キャンパス 会場棟:7号館
〒484-8504 愛知県犬山市内久保 61-1
※7号館に設置する大会受付までお越しく下さい。

交通案内

◎名鉄小牧線「田県神社前」駅下車 スクールバス7分

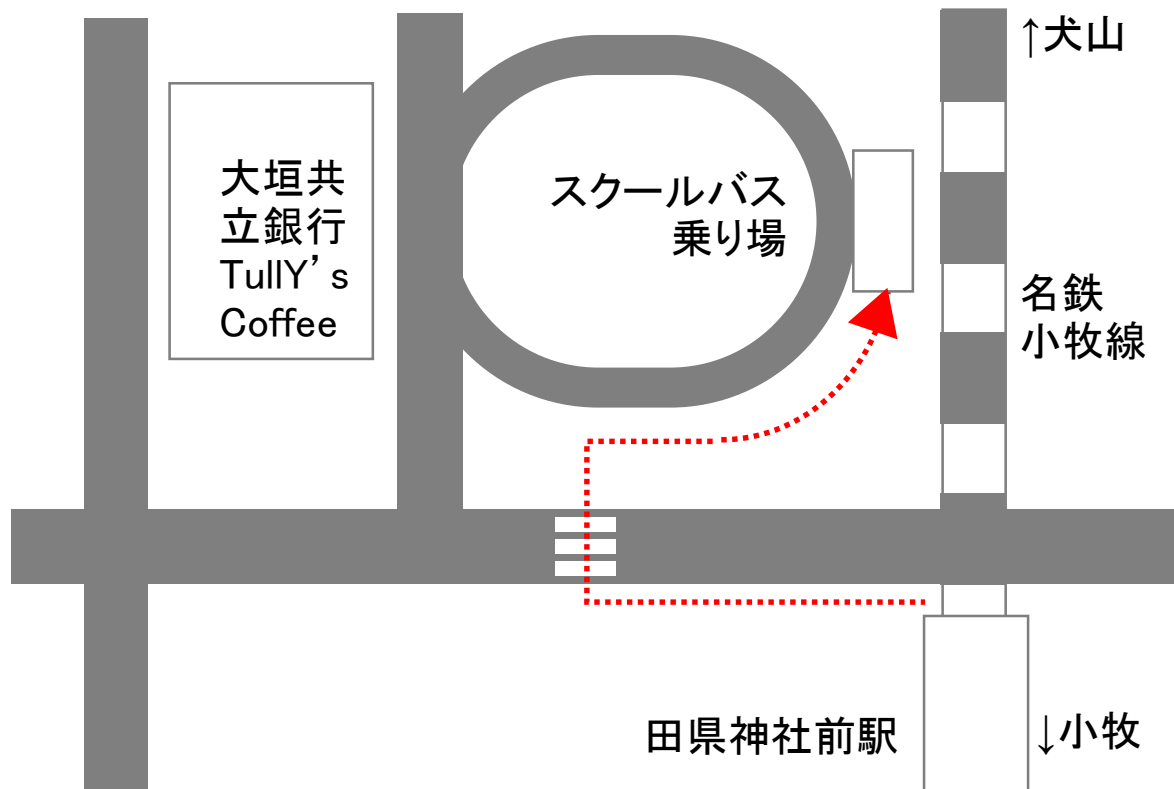
名古屋駅→名鉄犬山線(快速特急25分)→犬山駅→名鉄小牧線(普通10分) →田県神社前駅

名古屋駅→地下鉄(東山線5分)→栄駅→地下鉄(環状線9分)→平安通駅→地下鉄線(上飯田線23分) →田県神社前駅

中部国際空港駅→名鉄空港線(ミュージスカイ55分)→犬山駅→名鉄小牧線(普通10分) →田県神社前駅

※お車での来学も可能です。学内駐車場をご利用いただけます <http://www.nagoya-ku.ac.jp/access/>

◎田県神社前駅スクールバス乗り場



※田県神社前駅周辺には、待機タクシーがいません
※コンビニエンスストアも駅前にはありませんので、
飲食物など、必要に応じて事前にご用意ください
※学内の食堂およびコンビニエンスストアは、
土日はクローズです
※自動車での来学を希望される方は、来客用駐車場
(北門すぐ)をご利用ください

大学発	時刻	田県発
特別ダイヤ		特別ダイヤ
20 50	8	27
08 23 40	9	00 15 30 47
07 20 32 48	10	14 27 40 55
05 20 35 50	11	12 27 42 57
05 20 35 50	12	12 27 42 57
05 20 50	13	12 27 57
05 35	14	12 42
20 50	15	27 57
25 35 45 55	16	32 42 52
10 20 40	17	02 17 27 47
00 15 20 35	18	07 22 27 47
10 40	19	17 47
10 10 25	20	17 17 32

非学会員向けプログラムのみ抜粋

10月19日(土)

ランチョンセッション 「企業広報とリスクマネジメント～リスクマネジメント力調査より～」
 電通パブリックリレーションズ(企画・スポンサード)、無料弁当付き

統一論題シンポジウム

基調講演①

村木智裕氏 一般社団法人せとうち観光推進機構 CMO(チーフ・マーケティング・オフィサー)
 「DMOが地域マーケティングを変える」

略歴:日本のDMO(Destination Management Organization:観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人)を牽引するせとうちDMOのCMOを務める。広島県庁にて財政課、県議会議長秘書等に従事。2013年から「広島県瀬戸内海の道プロジェクト・チーム」に所属し、せとうちDMOの設立を担当、経営企画・海外プロモーションに従事する。現在は、全国のDMOや自治体が行うマーケティング活動をサポートする株式会社Intheoryの代表取締役を務める。

<https://www.adobe.com/jp/insights/181201-setouchi-dmo-digital-marketing.html>

基調講演②

★石井重成氏 釜石市オープンシティ推進室長

「人と人のつながりが地方創生に果たす役割～官民パートナーシップによるまちづくり」
 1986年愛知県西尾市出身。ICU卒業後、経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。地方創生の戦略立案や官民パートナーシップを統括。半官半民の地域コーディネーター・釜援隊の創設、グローバル金融機関と連携した高校生キャリア教育、広域連携による移住・創業支援、シェアリングエコノミーの展開などを通じて、人口減少時代の持続可能な復興まちづくりを推進。2018年5月にSDGsを踏まえ、地方版総合戦略・オープンシティ戦略を改訂。内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、総務省地域情報化アドバイザー、一般社団法人地域・人材共創機構代表理事、青森大学客員准教授。本年5月に『ローカルキャリア白書』を発刊。

<https://iwatewakamono.net/archives/1360>

パネルディスカッション 「大学に求められる地域創生支援」

★松田裕子氏 三重大学副学長 地域創生担当

★野口将輝氏 小樽商科大学アドミッションセンター准教授

★中村真咲氏 名古屋経済大学 犬山学研究センター長

学会参加（非学会員向け特別パッケージ）

10月19日(土) ランチョンセッション（無料弁当付き） + 統一論題シンポジウム

非学会員向け特別参加パッケージ価格 1,000円

※ランチョンセッションおよび統一論題シンポジウム双方への参加が必要です

参加申込

準備の都合上、別紙をご利用の上、事前に学会事務局までお申し込みください。

※非学会員の方でも、上記の他、2日間通して通常参加いただくことも可能です。
 その場合はこちらを参照ください。

プログラム内 http://jsccs.jp/upload/25th_kenkyuhappyo_kaiin_20190919.pdf

参加申込用 http://jsccs.jp/upload/25th_kenkyuhappyo_moushikomi20190723.docx

日本広報学会事務局
 〒169-8518
 東京都新宿区高田馬場 1-25-30
 03-5283-1104 (代)
 5283-1123 (FAX)
 jsccsty@gamma.ocn.ne.jp
 (事務局長 矢野)

25回大会実行委員会
 〒484-8504
 愛知県犬山市内久保 61-1
 名古屋経済大学内
 0568-67-0511 (代)
 jsccsty25th@nagoya-ku.ac.jp
 (副学長 中村)

日本広報学会第25回研究発表全国大会〈参加〉申込書

10月19日(土)ランチョンセッション(無料弁当付き)+統一論題シンポジウム 特別参加パッケージ

〈2019年9月30日(月)締切〉

日本広報学会事務局 E-mail: jscsty@gamma.ocn.ne.jp FAX: 03-5283-1123

フリガナ ご氏名		
会社・ 組織名		
所属		
役職		
ご連絡先	〒	
電話	電話	FAX
Eメール		
学会所属	<input checked="" type="checkbox"/> 非学会員	

※ランチョンセッションおよび統一論題シンポジウムの双方への参加が必要です

※参加費は当日会場にてお支払いください